

2012年
8月



子どもたちで工作をしています(カンボジア孤児院)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院理事長

北野 直人

皆さまの御支援サポート、心から感謝致します。

暑中お見舞い申し上げます。私の住む北海道では、時より低温注意報が発令され、昼の気温が12℃しかない日もあります。農作物が心配されますが、本州地方では35℃を超える地域も複数あり、所違えば、カンボジアでは、このところ幼少期の子供たちに重篤の症状を発症させる病気が流行っています。日本でも新聞等で報道されました。カンボジア孤児院では、今現在、発症の兆しのある子どもたちはいないようで、スタッフの一人としてはホッとしています。現地スタッフからは、油断しないようにしていますとのことでした。子供たちといえば、中学を受験した5人全員が合格したと連絡がありました。また、マレーシアのホームスクールの生徒さん達が訪問して下さり、子供たちと一緒にあそんだり、文房具、ビタミン剤など、たくさんの物をいただいたという嬉しい報告もありました。このように、子供たちが元気で健康に成長しているのは、皆さまの御支援があってこそです。どうか、これからも御支援、サポート、是非よろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ！（こんにちは！）『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からの多くのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。中学入試の結果が出て、試験を受けた5人共に合格の嬉しい知らせを受けました。皆様のご支援を頂いて、子ども達が1年ごとに成長し、中学、高校と学びが進んでいることをご報告させて頂けることを、私達も本当に嬉しく思っています。7月には、シンガポールとマレーシアからボランティアをしておられる先生方やホームスクールの生徒さん達が訪問して下さいました。子ども達同士でボールを蹴って思いっきり体を動かしたり、ペイントをして楽しんだり、楽器にも興味を持っている子ども達にはキーボードを教えて頂きました。今度はウクレレを教えて下さるとのことで、今から楽しみにしています。ご支援とご協力を通して、子ども達がいろいろな事にチャレンジ出来る機会が与えられていることを心から感謝しています。



マレーシアから訪問された生徒さんたち

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

礎の石フィリピン孤児院への皆様のご支援を心から感謝致します。今月に入り、スモーキーマウンテンの2人の子どもたちのために、借りられる家を探しています。この2人は高校に通っていますが、今住んでいる場所から学校が非常に遠い所にあるため家を借りることにしました。学校の活動などで帰宅時間が遅くなることもあるので、子どもたちの安全を確保するためです。私たちが借りようとしている家は、スモーキーマウンテンの子どもたちのお世話をしているインガイ牧師の息子さんの家の近くです。また、今月は栄養月間です。各学校でいろいろな行事が行われます。子どもたちは学校へ果物や野菜、また生の食材を持って行って調理したりします。ご支援を頂いているお一人お一人に心から感謝を申し上げます。どうぞ引き続き、フィリピン孤児院の子どもたちのために皆様のご支援、ご協力をお願い致します。皆様とそのご家族の上に祝福がありますように。

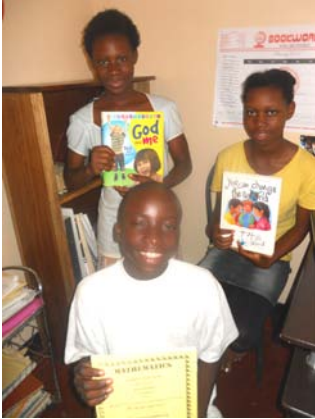


新しい靴をもらった子どもたち。

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリ ボワンジ（こんにちは）皆様のご支援に、心から感謝申し上げます。カセンガには、様々な部族が混在しているのですが、その中でも、ポリガミ（一夫多妻制）であるトンガ族、ジンバブエ人移住者が多く住んでいます。孤児院では、地域の女性が参加できるネットボールチームを作っているのですが、18人のメンバーの内、3分の1が、ポリガミであって、夫からの十分な生活費を与えられず、朝から晩まで働きづめ、他の夫人との確執からくるフラストレーションなど、様々な問題を抱えています。その中で、孤児院として、女性たちへのカウンセリング、ビジネスと家計の管理講座などを行うという新しい地域貢献の働きが生まれています。朝と晩、冷え込みが厳しくなっていますが、現在使っている毛布の痛みが激しく、交換する必要があります。また、特に男の子（身長約155~160cm）の衣料が不足（ズボン、防寒着、靴26cm、27cm）しています。どうかご支援をよろしくお願い致します。



身長が伸びてきている子どもたち。

ブラジル孤児院レポート

松本 弘子

皆様のご協力とご支援をいつもありがとうございます。私は7月12日より9月10日まで2006年以来の一時帰国をしております。今年はいスケジュールの関係で、ブラジルでの6月2日の健康診断を受けることができなかったため、日本で健康診断なども受ける予定です。私の実家は千葉県農の里にありますが、帰ってきてびっくりしたのが、過疎化が非常に進んでおり、公共の場所にほとんど人がいないことでした。弟家族が両親と同居してくれているので本当に助かります。しかし、弟の子供達も、来年からは今通っている学校が閉鎖され、都市部の学校へ転校とのことでした。今回の一時帰国を通して、日本とブラジルの福祉の違いを学ぶ良いチャンスかと思っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。



6年ぶりの帰国となる松本弘子スタッフ

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を！

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。

また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。

私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

【郵便振替】

(口座番号) 00130-5-24249

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2069305

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

児童養護施設（孤児院）設立支援のため

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2915961

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

【郵便振替口座】

(口座番号) 00120-5-417839

(加入者名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

「礎の石」パートナー募集中

私たち NPO 法人「礎の石」孤児院では、毎月10千円をもって孤児たちを支えてくださる「礎の石」パートナーを募集しております。

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所、Eメールアドレスまでお送りください。

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズヒル岩崎201

電話：03-5740-8814 FAX：03-5740-8817

E-mail：ishizue@athena.ocn.ne.jp

<http://www.cornerstone.or.jp/>